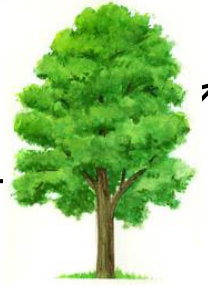




コミュニティ・スクール 太宰府市立太宰府西中学校 学校だより

樟 蔭

令和3年7月1日(木) No.4 文責 校長 島田 二郎



充実した6月でした。そして7月は…

7月に入りました。元旦から数えると半年が経過しました。学校は4月始まりなので、3か月が経過し、いろいろと慣れてきつつ、疲れも少しずつ出始める頃かと思います。先月のこのたよりでは『6月をどう過ごすか?』という題で書きました。今月は、まず6月を振り返りたいと思います。

6月は「結果的に充実した月であった」というのが私の感想です。緊急事態宣言に伴い、5月の体育会が中止となりました。さらには宣言が延長され、教育活動も多くの制限の中での実施となりました。西中では「なにができるか?」を話し合いました。その結果として6月10日に『太西フェスタ』を実施することとなりました。また吹奏楽部のマーチングコンクールや中体連筑紫区大会は予定どおり実施となりました。そのため、子ども達は、体育の授業や部活動に励み、たくさん練習をすることができました。この間、西中はとても活気に溢れていました。太西フェスタに向けた、朝昼の大縄学級練習や部活動の朝練習、放課後の熱気溢れる部活動など、子ども達は元気良く活動をしました。そのせいか、授業中の様子や生活態度など、とても良い雰囲気だったようです。生活が充実している証拠です。なお、中体連の結果は、7月20日の前期前半終業日のたよりで報告をします。どの部も熱戦でしたが、一部、惜敗しました。ただ、子ども達はたくさん練習してきましたし、最後まであきらめずに戦い、試合終了後、涙もあったものの、満足する笑顔で終わったと聞いています。事前の頑張りがあったからこそ、悔いなく終わることができたようです。

7月は中体連大会の続きがあります。さらに勝ち上がると筑前大会もあります。すでにいくつかの部活動で筑前大会出場を決めている部もあります。

学習面では、6月18日に中間考査がありました。翌週、テストが返却されました。通知表はありませんが、このテスト結果等をもとに、夏休みに、三者面談を実施し、前期の生活を振り返ります。

進路学習の一環として、3年生は高校調べ、2年生は職業講話を行います。本来であれば、3年生は高校へ、2年生は職場体験として各事業所へ、それぞれ行くはずでした。感染症対策のため、活動を自粛し、校内での活動となりました。活動は制限されますが、中身の濃い学習になってほしいと思います。

また、生徒会は代替わりの準備期間となります。1,2年生は現生徒会役員の話聞き、立候補に向けた準備をするようになります。選挙は9月ですが、準備はまもなく始まります。受験に向かう3年生と学校の中心となって活躍する2年生、中学校生活に慣れ、より充実した生活になるように取り組む1年生、それぞれの学年で、様々な取り組みをとおして成長してもらいたいと思います。

このように6月に引き続き、7月もいろいろな取り組みがあります。「忙しいのは充実している証拠」という言葉も聞いたことがあります。様々な活動をとおして、たくさん学び、成長してほしいと思います。

